

第65期 第3回 日本物理学会男女共同参画推進委員会 会議録(案)

日 時：2010年7月10日(土) 10:00~12:30

場 所：日本物理学会会議室

出席者：松尾由賀利(議長)、加賀山朋子、嘉規香織、門野良典、笹尾真実子、鳥井寿夫、  
中島美帆、松島房和

欠席者：有光直子、米永一郎、五神真、二宮正夫

議 題：

I. 報告事項

(1) 前回議事録の確認

[資料1]にもとづきメール会議にて承認済みの第2回委員会議事録が確認された。

(2) サブグループ報告(女子中高生啓発)：松島委員

[資料2]にもとづき、「女子中高生夏の学校2010」の準備状況について報告された。参加予定者数は129名。ひきつづき実施要領等についての審議がなされた(下述)。

(3) サブグループ報告(学協会連絡会)：門野委員

[資料3]にもとづき、学協会連絡会第8期第2回運営委員会(4月9日)および第3回運営委員会(7月7日)の報告がなされた。物理学会が参加するワーク・ライフ・バランスWGの活動としてシンポジウム(10月7日、理研)においてパネルディスカッション実施の案が挙げられていることなどが紹介された。

(4) サブグループ報告(広報)：中島委員

[資料4]にもとづき委員会ホームページ「リンク集」改訂の報告がなされた。「関連データ」へ新しく「オスロ大学IRISプロジェクト」へのリンクを加えるにあたり英語ページ作成の必要性が提起され、今後の課題として検討していくことが確認された。また学協会連絡会のホームページで公開されている各種資料へのリンクも意義があるとのコメントがあった。

(5) その他(第4期科学技術基本計画等に対する要望)：松尾委員長

[資料5]にもとづき、第4期科学技術基本計画および第3次男女共同参画基本計画策定の過程で「科学技術における女性の参画、活躍の促進」に関する記述が前期より後退していることに対して本委員会で要望書を作成し、連絡会をとおして各学協会に賛同を募ったことが報告された。今後この要望書をもって時期的な都合も考え合わせた上で学協会連絡会としてあるいは学会として各方面へ働きかけをしていく方針が確認された。

(6) その他(若手奨励賞規程に対する要望)：松尾委員長

[資料6]にもとづき前回検討された「学会若手奨励賞規程における男女共同参画推進への配慮に関する要望」は4月の理事会で承認され各領域へ通達されることが報告された。また過去4回の受賞者の年齢と性別のデータ[資料7]が報告され、

受賞者の男女比は全会員の男女比と同じ程度であること、領域によっては基準の年齢制限より数年超えた受賞実績があること、サンプル数がまだ少ないため今後の経過をみる必要があることが確認された。また、選考委員のメンバーの男女比についても調査することとなった。

(7) その他（委員長報告）：松尾委員長

学会誌2010年第7号に「女性研究者支援の先にある男女共同参画社会へ向けて」と題した委員長の巻頭言が掲載されることと、文中で参照されているデータ（1985年以降の会員数および女性会員比率の推移）がカラー口絵として掲載されることが報告された〔参考資料1〕。また、国立女性教育会館にて開催された「女性研究者のエンパワーメントと新領域創成に向けた日米シンポジウム（7月5日－7日）」およびそのプレ会議として開催されたワークショップ（7月5日）について報告された〔参考資料2〕。

## II. 審議事項

(1) 今後の活動について

- 「女子中高生夏の学校2010」について審議した。「実験・実習」は鳥井委員、中島委員、松島委員が担当することとなった。「ポスター展示」には嘉規委員作成のポスター及び例年展示のキャリア相談関連ポスター（ただし更新が必要）を展示することとなった。この他にビデオ上映やデモ実験も検討することとなった。また、学会パンフレット（ノーベル物理学賞授賞の会員を紹介したもの）を配布用として準備することとなった。
- 学協会連絡会シンポジウム（10月7日、理研）について審議し、笹尾委員がポスター作成をおこなうこととなった。内容に一年間の活動報告として「夏の学校」等の写真も盛り込むことが検討された。
- 学会誌の「委員会だより」について来期委員会以降引き続き検討することとなった。
- [資料8]にもとづき第66回年次大会シンポジウムのテーマについて意見交換をおこなった。男女共同参画社会基本法から10年の節目を迎えることを意識し、施策から離れた現場の生の声を取り上げる等、10～20年の長いスパンで見えてきた問題を扱ってはどうかという意見が出た。一方、時期的に第4期科学技術基本計画を受けた内容にすることも考えられ、前大会シンポジウムでメインにとりあげた「採用」よりさらにその後のステップである女性PIの育成についてとりあげるという案も挙がった。来期委員会への引き継ぎ事項として検討することとなった。
- 国際会議への参加について、APPC11（11月14－18日、上海）には松尾委員長と笹尾委員の参加が現在検討中であり、IUPAPの第4回Women in Physicsへの参加者の検討を進めていくことが確認された。
- 年次大会の物理教育文科への講演申し込みを2件程度検討することが確認された。

(2) 次回委員会日程

日程検討に先立ち、来期委員長の笹尾委員よりあいさつがあった。第1回委員会は第1候補として9月10日、第2候補として9月9日を検討することとなった。また、今期委員もネットコメンテーターとして可能な限り出席することが要請された。

(3) その他

今期で終了する委員として、有光委員（議長代読）、中島委員、松島委員、松尾委員長よりあいさつがあった。

資料1：前回議事録

資料2：平成22年度夏の学校第2回準備会資料

資料3-1：男女共同参画学協会連絡会第8期第2回運営委員会メモ

資料3-2：男女共同参画学協会連絡会第8期第2回運営委員会議事録（案）

資料3-3：男女共同参画学協会連絡会第8期第3回運営委員会メモ

資料4：男女共同参画HP「リンク集」ページの更新

資料5-1：第4期科学技術基本計画および第3次男女共同参画基本計画への要望

資料5-2：科学技術基本政策策定の基本方針（6/16）（案）

資料6：日本物理学会若手奨励賞規程における男女共同参画推進への配慮に関する要望

資料7：若手奨励賞受賞者の年齢および性別

資料8：物理学会シンポジウム（「物理と社会」分科）—HPより—

参考資料1：日本物理学会誌2010年第7号巻頭言

参考資料2：女性研究者のエンパワーメントと新領域創成に向けたワークショップ

参考資料3：第65期第1回日本物理学会男女共同参画推進委員会会議録

（文責：加賀山朋子）